

【資料2】

学校適正配置のシミュレーション【滝野中学校区】(案)

項目	滝野小学校	牧の原小学校	滝野中学校
①所在地	印西市滝野5-1	印西市牧の原3-1-1	印西市滝野5-2
②開校年	平成9年	平成27年	平成9年
③普通教室保有数	総数21教室	総数33教室	総数14教室
④児童生徒数の推移	R4:456名→R10:680名 ※224名の増	R4:761名→R10:1,358名 ※597名の増	R4:361名→R10:640名 ※279名の増
⑤通常学級数の推移	R4:15学級→R10:22学級 ※7学級の増	R4:24学級→R10:41学級 ※17学級の増	R4:11学級→R10:19学級 ※8学級の増
⑥特別支援学級数の推移	R4:4学級→R10:5学級 ※1学級の増	R4:5学級→R10:8学級 ※3学級の増	R4:2学級→R10:3学級 ※1学級の増
⑦学校規模の推移	R4:適正規模→R10:適正規模	R4:適正規模→R10:大規模	R4:準適正規模→R10:適正規模
⑧通学区域 ※遠距離通学者は、 R4.5.1 時点の在校生	・東西:約1.1km ・南北:約1.4km ・遠距離通学者:直線約0.6km 道路約1.0km	・東西:約3.0km ・南北:約1.8km ・遠距離通学者:直線約1.8km 道路約2.6km	・東西:約3.9km ・南北:約2.2km ・遠距離通学者:直線約1.3km 道路約1.5km
⑨スクールバスの運行	なし	なし	なし
⑩学区外就学の状況(出) ※各年5月1日現在 ※学区の児童生徒数は 4月1日現在	R4:6名/学区の児童数:448名 (割合:約1.3%) R3:5名、R2:8名 主な就学先:牧の原小	R4:3名/学区の児童数:736名 (割合:約0.4%) R3:7名、R2:10名 主な就学先:西の原小	R4:14名/学区の生徒数:355名 (割合:約3.9%) R3:10名、R2:11名 主な就学先:西の原中
⑪学区外就学の状況(入) ※R4.5.1 現在	20名 主な指定校:本埜小	28名 主な指定校:木下小	58名 主な指定校:西の原中、本埜中

<児童生徒数・学級数の推移>

学校名	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数
滝野小学校	435	15	543	18	603	20	663	22	701	23	715	23	680	22
牧の原小学校	733	24	887	27	1,077	34	1,206	37	1,265	39	1,332	40	1,358	41
滝野中学校	353	11	396	12	423	13	456	13	523	15	581	17	640	19

※児童生徒数及び学級数は、通常学級で整理している。

＜滝野中学校区における学校適正配置シミュレーション（案）の考察＞

実施方策	学校適正配置の組み合わせ	学校規模	施設受入面	特記事項
①通学区域の見直し				・通学区域の見直しを行っても、牧の原小学校の大規模校を解消することは難しい。
②学校選択制の導入 （ブロック選択制）				・牧の原小学校が大規模校であるため、ブロック選択制の導入はできない。
③学校選択制の導入 （特認校制）				・小規模校がないため、小規模特認校制度の導入はできない。
④学校選択制の導入 （特定地域選択制）	牧の原小学校区から滝野小学校区への通学区域制度の弾力的な運用の導入			・牧の原小学校の児童数が数十人程度減少することが見込まれるが、滝野小学校の教室数が不足するおそれがあるため、特定地域選択制の導入はできない。
⑤学校の統合	滝野小+牧の原小	大規模	滝野小：× 牧の原小：×	・前期課程の学校規模が大規模になってしまう。 ・学校の統合に対応できる学校施設の増築場所を各学校用地内で確保することが難しいため、学校の統合はできない。
⑥学校の統合	滝野小+牧の原小+滝野中 ⇒新 義務教育学校 （施設一体型）	・前期課程 →大規模	滝野小：× 牧の原小：× 滝野中：×	
⑦学校の統合	滝野小+牧の原小+滝野中 ⇒新 義務教育学校 （施設分離型）	・後期課程 →適正規模		

※施設受入面：○…受入学校の教室総数≥学校適正配置シミュレーション後のR10学級数+R10特別支援学級数

×…受入学校の教室総数<学校適正配置シミュレーション後のR10学級数+R10特別支援学級数

【参考】児童生徒数・学級数の推移（学校の統合後）

学校名	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数	人数	学級数
新 義務教育学校（前期課程）	1,430	42	1,680	51	1,869	56	1,966	59	2,047	61	2,038	61
新 義務教育学校（後期課程）	396	12	423	13	456	13	523	15	581	17	640	19
新 義務教育学校（全体）	1,826	54	2,103	64	2,325	69	2,489	74	2,628	78	2,678	80

※児童生徒数及び学級数は、通常学級で整理している。

※R10 特別支援学級数：前期課程 11 学級・後期課程 3 学級